

# 災害時等非常用電源導入支援のご案内

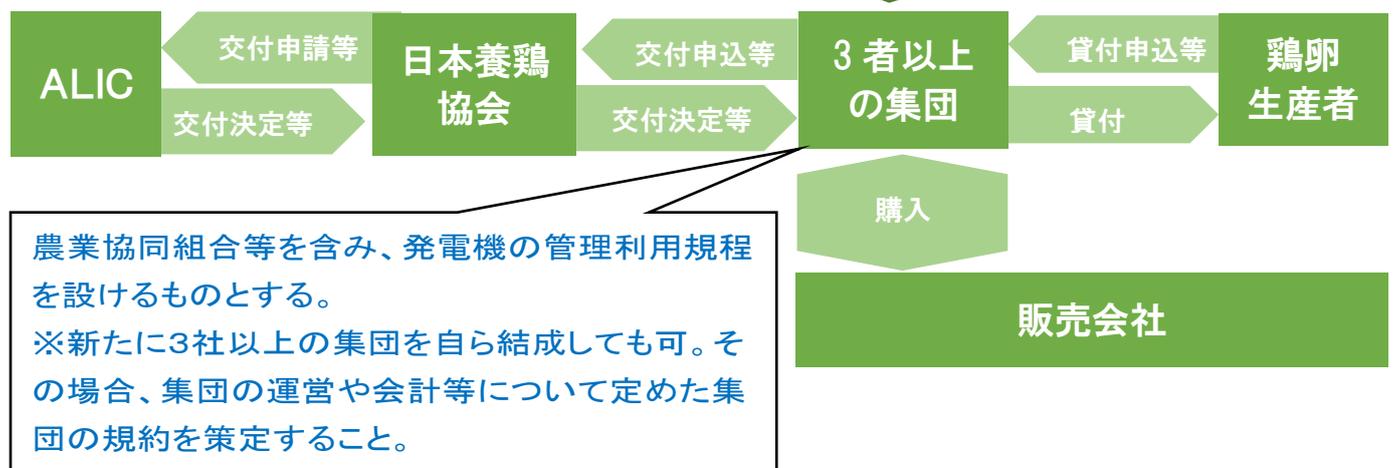
独立行政法人農畜産業振興機構(alic)が、災害等による停電に備え、非常用電源を計画的に導入する取組を引続き支援。

**若干の予算残**があるため、令和2年11月より追加募集。

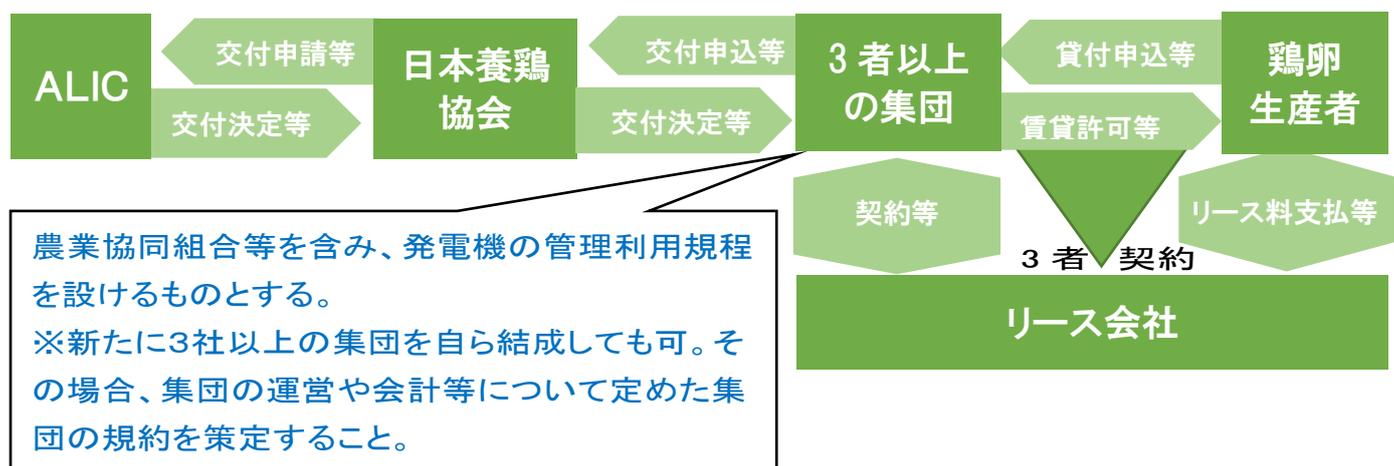
- ・発電機の買取り:本体価格の50%以内を補助
- ・発電機のリース:リース料の軽減(発電機本体価格の50%相当以内)
- ・令和2年度内での設置・検収完了が必須

## 事務手続き

### 1.買取り編



### 2.リース編 **リース会社の審査が通ることが前提!!**



## 〔留意事項〕

- ◆本事業は、要望額が令和2年度予算残に達した場合、予告なく打ち切ります。  
補助金交付申請書(添付資料一式を含む)の完備したのから先着順で受け付けます。
- ◆令和3年3月末日までに整備・検収が完了する場合のみ、本事業の対象となります。令和3年4月以降完了分は補助対象外となるので、完了時期については、十分ご留意願います。
- ◆本事業で導入する非常用発電機(以下、「発電機」という)は、天災害等による停電時に鶏舎等の電力を確保するものに限ります。(GP センターは対象外。)  
応募に際しては、鶏舎の必要電力量の算定根拠資料が必要です。
- ◆発電機の見積もりは、3社以上の相見積もりが必要です。なお発電機は、需要の増大による納期の切迫事例が生じており、事前に導入可能時期をご確認ください。
- ◆発電機の設置工事及び運搬にかかる費用は、各経営体のご負担となります。
- ◆本事業を活用して発電機を導入する場合、7年間は処分(契約解除、譲渡、交換、貸付け等)に制限がありますので、ご注意ください。
- ◆中古の発電機を導入する場合は、製造日から2年以内のもののみが事業の対象となります。
- ◆複数の鶏卵生産者で1つの発電機を導入する場合も、事業の対象とします。  
(但し、リース会社が了承した場合に限る。)
- ◆メンテナンス料込みのリースも可とし、再リースも可、所有権移転リースも可です。
- ◆買取りの場合、支払い条件によっては一時的に補助金分も立替のうえお支払い頂く可能性があります。資金のご用意にはくれぐれもご留意願います。
- ◆「いざ停電」の際「故障で動かない」ことの無いよう、日頃のメンテナンスを必ず行ってください。例えば、動産総合保険への加入や、メンテナンス契約なども考えられます。
- ◆3者以上の生産者集団の要件については、<実施要領第3の1>をご覧ください。

### 【生産者集団等】

生産者集団、農業協同組合、農業協同組合連合会、畜産業の振興に資する事業を行う一般社団法人若しくは一般財団法人又は中小企業等協同組合法(昭和24年法律第181号)に基づく事業協同組合

- ◆生産者集団等の構成員の方には、日本養鶏協会に対する生産者集団の債務に関し連帯保証をお願い致します。
- ◆事業の詳細については、家きん経営災害緊急支援対策事業実施要領等をご覧ください。

## 〔規程・様式等〕

- ◆日本養鶏協会のHPに各種規程・申請様式等を掲載しておりますので、ご活用願います。バナー [畜産経営災害総合対策緊急支援事業](#) からご覧頂けます。

お問い合わせ先： 一社)日本養鶏協会 業務第一部 TEL 03-3297-5515

<https://www.jpa.or.jp/>